

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-023

PDCA	事務事業名	はんだふれあい産業まつり 開催事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当 内線等	太田 322	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ①魅力ある個店づくり					
	根拠法令等	-					
	対象・目的	はんだふれあい産業まつりを開催することで、地元農業、工業、商業者の活動をPRし、産業振興に寄与する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・はんだふれあい産業まつり実行委員会への補助 ・実行委員会と協働で、市内事業者を中心に来店者を募集 ・産業まつりの開催PRのためのポスター、チラシを作成					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①PRチラシ印刷数	42,100	43,100	-	枚	
		②PRポスター印刷数	400	400	-	枚	
		事業費	5,000	5,000	0		
		人件費	2,498	1,863	617		
		総事業費	7,498	6,863	617		
	活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	①PRチラシ印刷コスト	170,960	184,831	-	円		
	②PRポスター印刷コスト	69,120	70,070	-	円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①はんだふれあい産業まつり来場者数	実績値	43,000	42,000	-	人
			目標値	41,000	43,000	-	
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	D 新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの来場者を感染症から守るために開催中止を余儀なくされた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 地産地消の促進や産業振興を進めるためには、今まで以上に参加事業者等からの画期的な企画を取り込むとともに、地元商業、工業、農業の各分野からの幅広い団体に積極的な参加を呼びかけ、地元の産業活動を重点的にPRしたい。				
		令和3年度の目標	成果指標	目標値		単位	
①はんだふれあい産業まつり来場者数			43,000		人		